

お・う・み・ネ・ッ・ト

Ohmi Net

トピックス●新春座談会

■ますます広がる滋賀の市民活動

北村裕明さん・秦憲志さん・横井くにえさん

スポットライト●

■小鳩おもちゃ病院

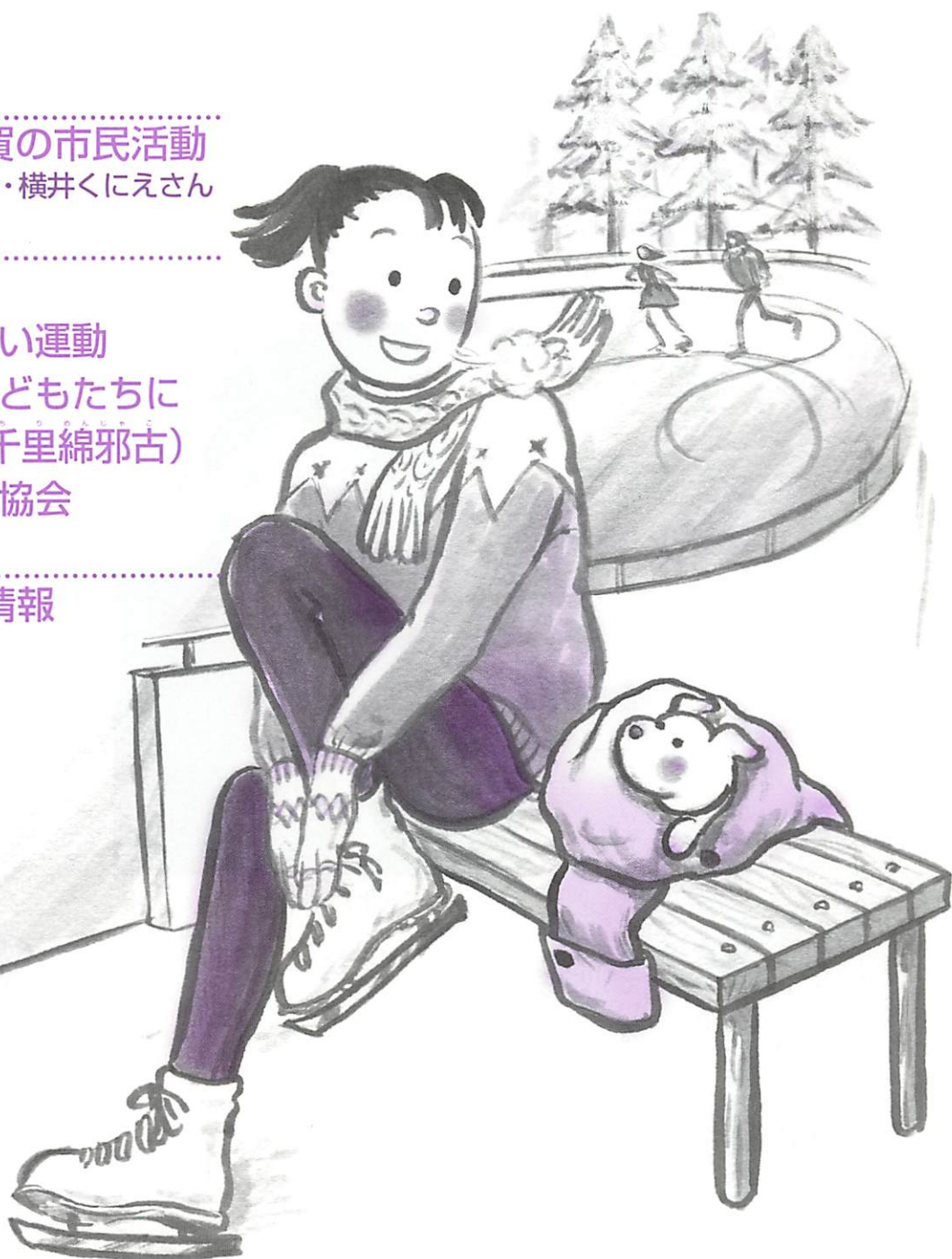
■人と動物とのふれあい運動

■ペルーの孤児院の子どもたちに 学用品を送る活動(千里綿邪古)

■ライブテクノメイト協会

伝言板●

■1月・2月 催し物情報



NO. 3

1998・1

淡海ネットワークセンター

The Ohmi Network Center for Voluntary Organizations

滋賀の

1998

ますます広がる市民活動

キーワードは情報の共有・発信

あけましておめでとうございます。おかげさまで「おうみネット」も初めての正月を迎えました。そこで今回のトピックスは「新春座談会」と銘打って、北村裕明さん、横井くにえさん、秦憲志さんの3人に「滋賀の市民活動の現状、そしてこれから」についていろいろとお話いただきました。

環境・福祉・まちづくり…

滋賀の市民活動は楽しみながら軽やかに。

北村 ● ボランティア活動や非営利活動といった市民活動が急速に盛り上がってきています。そして、こうした活動が未来を開くのではないかと言われており、それを情報提供や人材育成の面で支えていこうとする運動も高まっています。

今日はFM滋賀のパソナリティとして県民の様々な動きにアンテナをはっていらっしゃる横井くにえさんと、滋賀総合研究所でまちづくりの調査研究をしておられる秦憲志さんにお越しいただいて、お二人に滋賀における市民活動への期待と淡海ネットワークセンタ

ーの役割についてお話をいただければと思つてます。最初に横井さんから朝の番組の中から見えてくる地域や住民の活動についてお話をいただけないでしょうか。

横井 ● そうですね。いろんな形の活動があつて大きく分けると環境と福祉とまちづくりの活動をされている方が多いなあという気がします。他の県の方よりも積極的に環境に対して取り組んでいらっしゃるというような気がします。近江八幡エコロジィ・マーケットの菱田さんと話したんですが、例えば「洗剤を使わないためにアクリルで編んだたわしを使



北村 裕明 きたむらひろあき
滋賀大学経済学部教授
(財)淡海文化振興財団 運営会議座長

すが、それはその人々がいなくなったのではなく、地域の違う場面でも、たくさん活躍されています。例えば農家の女性たちがいろいろな村おこしや特産物づくりをしています。昔からのネットワークをいかしたりして

いましよう。ただし100%アクリルじゃないとだめですよ。みたいな日常の生活からできることを提案されていますね。秦 ● 真ん中に琵琶湖があるせいか、その影響を受けた生き方や哲学を持った方が多いですね。取り組み内容も実に多様です。石けん運動なども、今は使用が少し落ちて

の出入りがあるので、どんどん活動内容が変わっていつているというのも特色としてあるんじゃないかと思つています。北村 ● 市民活動というものが変わってきていると思つています。ある程度楽しみながら軽やかに活動し、自分達の生活を変えていこうというふうなんです。ようやくそういった活動が地についていると思うんです。同時にそうした活動には自分達で地域の資源を再発見してみようとか、自立・自前で活動して





横井 くにえ よこいくにえ

FM滋賀「レイクサイド・モーニング77」
パーソナリティ

るという特徴があります。
秦 ● いろいろやっている所を上手にゆるやかにつないでいくというのでは、長浜の黒壁の活動ですね。企業活動で地域の古い建物の更新とか産業おこしとかをやっているのですが、それだけじゃなくて、市民活動の応援といえますか「長浜みーな」というタウン誌のバックアップをしたり、イベントの運営などのネットワーク役をやるなど、しっかりした組織ができてきているんです。
北村 ● 自前で地域の資源をガラスという新しい素材を活用して、うまく再生、発展させた例ですよね。最近はまだ新たな発展をしているのでしょうか？
秦 ● 昨年、全市的にいろんなグループがあった長期のイベントをやったんですが、みんなが集まって話し合うという機会が多く、お互いが何を考えているかよく分かったそうです。それで、シルバースタッフの人たちがイベントが終わってからも何かしたいということで野菜やリサイクルのお店をだしたんですね。

個々の市民活動のバックアップとして 淡海ネットワークセンターの情報発信活動に期待します。

北村 ● 自立自前でいったん動き出して拡大していくというのは、長浜では人づくりで成功したのだらうと思います。それで絶えず繰り返しいろんなイベントや新しい展開につながっているのでしょうか。ところで横井さんはアメリカで長い間生活していらっしやいます。アメリカは市民活動が盛んな国であるというふうに言われていますが、アメリカの市民活動と比べて滋賀の市民活動についてどう思われていますか。

横井 ● 違いはいろんな要素があるんですけど、国の成り立ちから違って西部開拓の時代から自分のことは自分で守るみたいな国ですよ。それとも一つは税制の問題でアメリカはいろんなところに寄付をするとそれが課税の対象から外されるので、自分が信じた組織に使ってもらおうとするんです。そんなシステムと自分のことは自分でするというような意識があるのですね。政府に頼らない活動が盛んだという気はします。

ービスを提供し、民間のチャリティなどが提供するサービスは、限定的なおくれたものだと見なす風潮が強かったように思います。
横井 ● それゆえに自分がしっかりしていないといけなくて例えば寄付した団体の経理が不明瞭なために裁判がということもよくあるんです。

北村 ● 市民活動については、社会的地位が高まれば高まるほど、その透明性や自己責任、最近のはやりの言葉で言えばアカウンタビリティが強く問われることになるかと思えます。こういった様々な市民活動の発展や問題を踏まえて、今年の4月に淡海文化振興財団が発足しましたが、今後どういうところに重点をおいていったらいいかご意見をうかがえたらと思うのですが。
秦 ● 情報を出していく支援が大切かなと思います。活動自体は自分たちでできるのですが、何かにまとめた情報を出していくということは非常に労力がいっていると思うんです。

要だという議論は強いようです。つまり何らかの市民活動、社会活動に興味をもっていただく方がこのセンターに接触すれば、おまのことが分かり、情報も発信できるということですね。
横井 ● 長浜みたいに活動がうまく発展しているように、きっかけや後押しをしてもらえればいいですね。

北村 ● アメリカという国は多民族多宗教で、政府ができることはそもそも限界があるという成り立ちで出来ているんですね。日本は明治以降、お上がすべて一元的なサ

北村 ● 市民活動はこれまでのように垂直型で関係をもつのではなく、ネットワーク型でも言いましょうか、横に水平につながる新しい組織活動の特徴として、皆で情報共有できるようなインフラが必

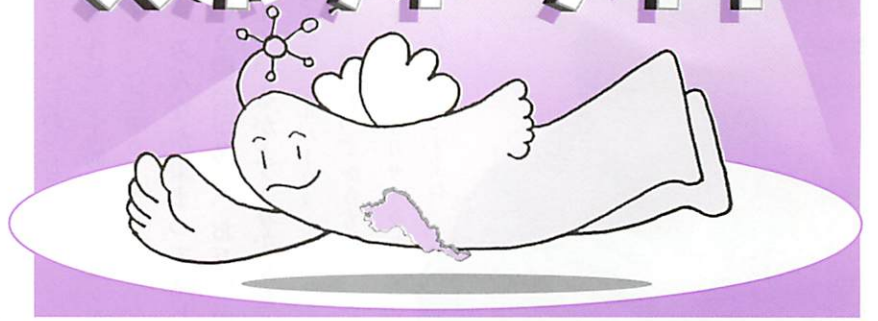
**活動がうまくいくように
きかけや後押しをしてもらえればいいですね。**

ような社会的な評価が得られるように努力をしていきたいと思っています。今後とも皆さんのご協力とご援助がいただければと思います。今日はどうもありがとうございます。



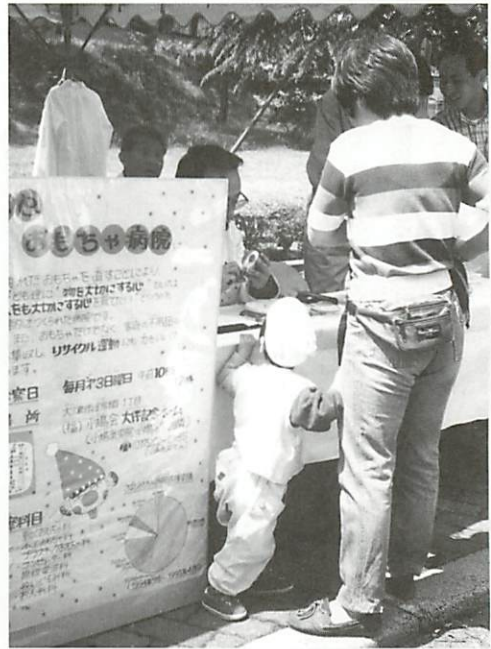
秦 憲志 はたけんじ
(財) 滋賀総合研究所 主任研究員

SPOTLIGHT スポットライト



環境・福祉・まちづくり…県内にはいろんな分野で
キラキラ元気に活動される団体やグループがいっぱい！
毎回4つのグループにスポットライトをあて、その活動をご紹介します。

“おもちゃ病院”で子供たちの喜ぶ顔が見たい——小鳩おもちゃ病院



コンピューター、電気、警察官、公務員などさまざまな職業のOB・現役28人が職業現場で培った技術と経験を生かし、「動くおもちゃ科」「無線電波科」「コンピューター科」など多彩な診療活動をしています。

誕生したのは平成6年。現院長の奥村寿朗さんが、知人の「小鳩乳児院」の理事長から「園児や自分の孫があまりにもおもちゃを粗末にしている」と聞かされたのがヒントです。「動かなくなったらすぐゴミ箱行き。親も子もモノを大切に

する心、何で動かせる心、何で動かせる

の？という疑問の心や好奇心を持ってほしい」との願いもあって病院の設立へ。
現在、毎月第3日曜と第4日曜の午前10時から12時まで、月に7～10件の診察をこなしています。重症のおもちゃは約1カ月の入院で元気に。ほとんどが電池切れや接触不良といった単純な原因による病气(故障)で、患者の99%は完治すること。滋賀県はもろろん京都や大阪、遠くは徳島からも診察の依頼があるといえます。

今後は可能な限り往診も引き受ける予定。ぬいぐるみの治療にあたるお医者さん、看護婦さん、看募集さんも募集中です。

ペットとともに施設を訪問、みんなの心と体を健康に——人と動物との触れ合い運動

自分のペットを連れて老人ホームなどの施設を訪問するCAPP(コンパニオン・アニマル・パートナーシップ・プログラム)運動が、昨年滋賀県内でも始まりました。

これは動物に触れると血圧や心拍数が下がりリラクゼーション効果から生まれたボランティアで、日本動物病院福祉協会の提唱によって10年程前から盛んになったもの。滋賀県では樋口一さん(八日市在住)が呼び掛け人です。6年ほど前、

引越した当初の寂しさから犬を飼ってみて、「犬のいる生活の素晴らしさ」を知った樋口さんは、ボランティア雑誌でこのプログラムを知り現場へ見学に。

「動物に触れたお年寄りたちの顔がみるみる柔和に変わっていくのを目の当たりにしました。見学している私でさえうれしくなりました。飼い主同士も



交流でき、入居者、施設従業員、ボランティアのみんなが喜べる取り組みだと思いました」
早速、草津の獣医・金谷先生に相談して代表になって

もらい、昨年11月、県内12名のメンバーでスタートしました。施設で動物に触れ合ってもらう時間は1回30分ほど。既に老人ホームの玉園ハイムなど3カ所



で実施、12月には八日市市立図書館で写真展を開催したほか、犬のしつけ教室も開いています。犬と猫だけでなくウサギや小鳥などもOK。予防接種を済ませている、他の動物に出会っても落ち着いていられるなどの条件はありますが、大抵のペットが参加できるということです。

連絡先

小鳩おもちゃ病院／奥村寿朗
大津市南志賀2丁目6-2
TEL(077)525-5144



動物と
触れ合うことで
生まれる笑顔!!



連絡先

人と動物とのふれあい運動
(社)日本動物病院福祉協会 CAPP推進委員/樋口一
八日市市沖野1丁目6-15 TEL (0748) 25-2462

**ペルーの孤児院や施設に文具、
ミシンを贈ろう! — 千里綿邪古(近江八幡市)**

千里綿邪古(ちりめんじやこ)は「ペルーの孤児院に学用品を送る運動」を進めているボランティアグループ。数年前、代表の野村さんがペルーの日本語就学生を受け入れたときに知った事実からこの活動が生まれました。

現地の子供たちが学用品に困っている。これも何かの縁、少しでも力になればと、新聞紙面でアピールしたのが始まり。約二百人から鉛筆四千五百本、ノート二千五百冊、消しゴム八百個、筆箱八百

個ものの文具が寄せられました。

「この二百人の人たちの“気持ち”を大切にしたい」とペルーまで出向いて学用品を届けた野村さん。今度は現地で自立のための女性センターを作るかと頑張っている「プラハの幼きイエス宣教師女子修道会」が足踏み式ミシンを求めているのを知りました。



再び新聞紙面でアピール。145台の足踏みミシンが集まったのですが、現地へ送る船賃の調達が課題に。そこで、11月にペルーのミュージシャンを招

「縁」の中から湧き上がる“自然体の活動”を目指しています。

停年退職しても「健康」と「いきがい」を保つために、企業で培った技とノウハウを生かして役立つ仕事をする。第三の人生を自立したい。ライブテクノメイト協会はそんな思いの企業OBたちが集まり、

**企業のモノづくりのノウハウを福祉の現場へ
これが私の第三の人生だ!**

—— ライブテクノメイト協会(企業OBの生きがい就労の会)

主に障害者の施設における就労訓練のための商品・機械・作業等の改善に取り組んでいます。

元になったのは、松下電工を定年退職して県社会福祉協議会のワークアドバイザーを委嘱された浅田銃秀さん(現・代表)の体験。県下120カ所もの施設の相談を1人で応じていたころ、海外旅行の機中で乗客の半分が停年退職した年代の人たちなのに気付いたのがきっかけです。「みんな現役時代に培った技の持ち主で時間的な余裕もある。こうした人たちに手伝ってもらえれば!」

メンバー一人ひとりの得意分野を生かして、障害者施設の作業に企業のモノづくりのノウハウを導入。作業の大幅な改善と工具の工夫などによって、「補助者がなくても自分だけでこま

でモノが作れるんだ」という障害者の喜びに満ちた顔にたくさん出会いました。これこそ自分たちの生きがいだ。と



連絡先

ペルーの孤児院の子どもたちに学用品を送る活動
千里綿邪古/代表 野村聡美
TEL (0748) 33-7797

連絡先

ライブテクノメイト協会
滋賀県社会福祉協議会 ワークアドバイザー 浅田銃秀
草津市南笠町新池110-1 TEL (077) 567-3920



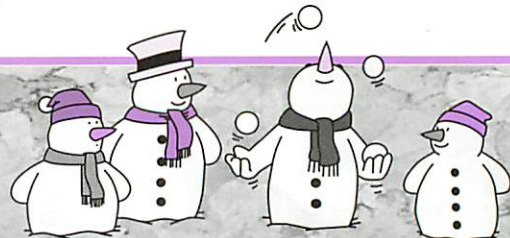
▲ 代表の浅田さん

伝言板

皆さんの活動をより多くの方に
知っていただくための伝言板です。
情報をお待ちしております。



1月→2月



淡海サロン

淡海サロンは
皆さんの新しい取り組みの
第1歩を応援しています。

精神に障害を持つって どんなこと?

～いろんな人がいて街～

日時●1月14日(水) PM1:30～3:30
場所●喫茶にんじん
参加費●600円
お問い合わせ先●
0748-67-0936/摂津
0748-72-5033/喫茶にんじん

女も男もボランティア

～環境問題を考える～

日時●1月16日(金) PM7:30～
場所●八日市市中央公民館
お問い合わせ先●
0748-22-5790/山路

守山市内の自主的な 社会参加活動グループの 情報交換・交流

日時●1月17日(土) PM1:30～
場所●守山市中央公民館
参加費●資料代 100円
お問い合わせ先●
077-583-6579/広実

“子ども”について 一緒に考えあいませんか

日時●1月17日(土) PM1:30～3:30
場所●淡海ネットワークセンター
会議室
参加費●500円
お問い合わせ先●
077-546-1355/遠藤
077-523-1891/谷田

痴呆性老人と 一緒にうたをうたおう

日時●1月22日(木) PM6:30～8:00
場所●大津市晴嵐市民センター
お問い合わせ先●
077-534-0451/呉竹

子育てについて語りましょう

日時●2月14日(土) PM1:30～3:30
場所●彦根中地区公民館
お問い合わせ先●
0749-24-6891/広田

文化の発信

文芸セナリヨ はつらつコンサート

～音楽療法ではつらつ健康に～

日時●1月29日(木)・2月19日(木)
PM2:00開演
要入場券(入場無料)

第2回 ミュージックフェスティバル

日時●2月8日(日) PM2:00開演
要入場券(入場無料)

場所●文芸セナリヨ
お問い合わせ先●0748-46-6507
(財)安土町文芸の郷振興事業団

センター インフォメーション

わくわく市民活動ゼミナール

第3回 市民活動のための
ワークショップ入門

日時●1月10日(土) PM1:30～4:00
場所●つがやま荘 ロイヤルホール
講師●世古一穂(参加のデザイン研究所代表)
お問い合わせ先●077-524-8440
淡海ネットワークセンター

1997年度版 淡海NPOデータ ファイルができました。

この冊子は、まちづくりや環境保全、
福祉などの様々な分野で市民活動
されている533団体の活動内容等を
掲載したもので、皆さんの活動の情
報交流やネットワークづくりの一助
となることを目的としています。97
年3月の情報を基準に作成し、毎年
更新していきます。詳しくは淡海
ネットワークセンターへ。

3月15日(日) 野洲文化ホールで 何かが起こる!!

淡海ネットワークセンターでは、環
境・福祉・まちづくりなどの幅広い
市民活動の失敗や成功の実例を語
りあう研修交流会を開催します。
この催しについての企画立案、実施に
参加していただける方を募集して
います。

知識の共有

茜トークサークル 第37回例会(死生学の勉強会) 「誰もが望むターミナルケアの 在り方」パート2

日時●1月31日(土) PM1:30～4:00

第38回例会(死生学の勉強会) 「誰もが望むターミナルケアの 在り方」パート3

日時●2月28日(土) PM1:30～4:00

場所●大津市生涯学習センター
参加費●500円
お問い合わせ先●077-522-6897
茜トークサークル事務局/木下

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

今回と次回は「おうみネット」の紙面が2P少なくなります。さて今年度も残すところあと3ヶ月となりました。「おうみネット」も次号で今年度が終わり、98年5月号から編集内容をリニューアルしたいと考えています。そこで、今一緒に考えて下さる方を募集しています。自薦でも他薦でもかまいませんので、ぜひセンターまでご連絡下さい。先日新潟のまちづくり総方向誌「やぶへびひろば」の企画

編集されているやぶへびの会の方にお会いしました。いろいろと楽しいお話を伺う中で、お互いの情報交流がしたいねという話になりました。センターではこの「やぶへびひろば」をはじめとして、県内・県外の活動団体の情報誌も集めています。興味のある方はぜひどうぞ!!次号の発行は3月1日です。伝言板情報(1月末日締め切り)、ご意見ご感想をお待ちしています。

前号訂正のお詫び

おうみネットNO.2、1ページの「ふれあいネットワークの会 広瀬照美」さんは「広実照美」さんの間違いでした。ご迷惑おかけしました。

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団 / 〒520-0806 大津市打出浜14-15

TEL 077-524-8440

FAX 077-524-8442

E-mail ohmi-net@mx.biwa.or.jp

右記の日時に
ご利用いただけます。

月曜日と祝祭日の翌日を除く毎日(12/29～1/3を除く)
火～金曜日/9:00～19:00 土・日曜日、祝祭日/9:00～17:00

お気軽に
ご連絡ください

